

5年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。引き続き、学校の教育活動に対してご支援をいただければありがたいと思います。

〈国語〉

○成果……漢字を読む・書く、説明文の内容を読み取る

「漢字を読む・書く」の中でも、「第4学年で配当されている漢字を正しく書いている」の正答率は100%(目標値85%)でした。また、「説明文の内容を読み取る」の正答率は、88.9%(目標値75%)でした。叙述を基に文章の内容を捉えていることがわかりました。

●課題……文章を書く力

目標値との差が大きかったのは、正答率22%(目標値50%)の「段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く。」問題と正答率22%(目標値40%)の「内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書く。」問題の項目で、条件付き作文のような文を書く力に課題があることがわかりました。(無回答が16%でした。)

☆課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

何を問われているのか読み取り、読み取ったことをもとに、理由や条件を踏まえて書く活動に課題が見受けられるため、今後は、何について問われているのか考えながら「読む活動」や、条件の提示に合うように理由などを説明する力を伸ばせるような「書く活動」を取り入れた朝のスキルタイムや授業づくりに取り組んでいきます。

〈算数〉

○成果……基礎基本的な内容の定着

算数科の基礎的基本的な内容も計算問題や一問一答の問題については、比較的に正答率が高かったです。中でも、「小数」の10倍した数を求める問題や「分数」の分数を数直線上に表す問題は正答率が非常に高いことがわかりました。(正答率約90%、目標値85%)

●課題……問題内容の読み取り、計算する速さ、無回答率の高さ

問題文が長い問題や考えを書く問題は目標値に届かないことが多かったです。考えられる理由としては、問題の大切な部分を読み取ることができなかったことや計算に時間をかけすぎ最後まで問題を解くことができなかったこと、考え方の書き方が分からなかった可能性があると考えられます。

☆課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

授業では、自分の考えを持つ時間を十分に確保していく必要があると考えます。計算については、速さも必要となってくるので、すべて筆算で計算するのではなく、暗算で解く練習にも取り組んでいきます。また、問題内容の把握については、問題のどの部分が必要なのか考えられるような学習を行っていきます。

【保護者の皆様へのお願い】

市調査の結果から、国語科・算数科ともに内容を読み取る力に課題があることもわかりました。読み取る力に課題がある原因には、読書が苦手という児童が多いのではないかと考えられます。文章を読む活動が苦手な子どもに対しては、子どもに読書への興味を持たせる必要があります。日頃から本を読む習慣が身につくように、ご家庭でもお声かけとお力添えをよろしくお願い致します。